

マンスリー・ハイライト 拝啓社長殿

マネジメントのための経営財務情報

今回のテーマ： 2017年 IPO 実績の総括

2017年(暦年)の証券市場は、最終日の東証株式市場の終値が22,764円となり、1991年以来の高値となりました。好調な株式相場の後押しもあり、2017年の新規上場の実績は、【表1】のとおり前年を上回る96社となりました。

直近5年間における市場別IPOの実績では、マザーズへの上場数が多く、ほぼ毎年、過半を占めています。マザーズに次いで多いのが、JASDAQ・スタンダードとなっています。

また、2017年(暦年)の市場別IPO実績では、TOKYO PRO Marketへの上場が過去最多の7社となり、IPOの裾野を広げていることも伺えます。また、2017年12月18日にTOKYO PRO Market市場開設以来、初めて市場変更により一般市場に上場した会社も誕生しており、上場準備のための新たなステップとして注目されています。

業種別の実績については、情報・通信業及びサービス業の上位2業種が、継続して半数を占めており、無形のサービス産業がIPOを支えている傾向が読み取れます【表2】。

【表1】 (社)

	2013	2014	2015	2016	2017
東証1部	6	10	8	8	11
東証2部	6	10	9	5	8
マザーズ	29	44	61	54	49
JASDAQ・スタンダード	11	11	11	14	18
TOKYO PRO Market	4	3	6	3	7
その他	2	2	3	2	3
合計	58	80	98	86	96

【表2】 (社)

	2013	2014	2015	2016	2017
サービス業	17	18	26	24	26
情報・通信業	11	24	25	25	23
上位2業種合計	28	42	51	49	49
上位2業種割合	48%	53%	52%	57%	51%
小売業	8	10	11	8	9
不動産業	3	4	7	5	7
その他	19	22	29	24	31
合計	58	80	98	86	96

お見逃しなく！

情報・通信業及びサービス業における上場実績の中でも、ビッグデータやAI、IoTといった、新領域事業におけるIPOの実績が増加しています。

2017年(暦年)の初値上昇率(初値価格/公募価格)は、バラつきは見られるものの、平均して+207.9%と高水準の結果となっており、成長への期待値の高さが伺えます【表3】。

【表3】 (社)

	2013	2014	2015	2016	2017	初値上昇率(%)
ビッグデータ	1	2	3	2	2	+238.5
AI	-	-	-	2	4	+117.3
IoT	-	-	1	2	3	+260.6
合計	1	2	4	6	9	+207.9